

窒素を抑え環境ストレスに強い植物体を！

亜リン酸パワーで栽培革命！！！！

亜リン酸カリウム液肥

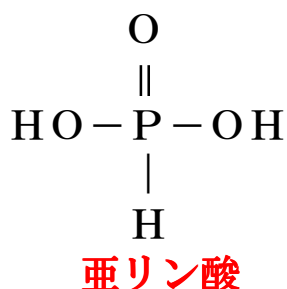
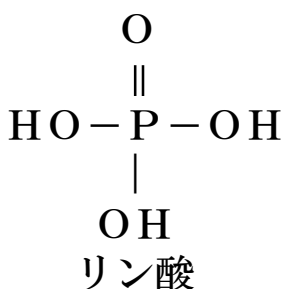
P-マックス・L

リン酸 P_2O_5 30% カリウム K_2O 20%

亜リン酸で養分転流を促し収量増加！



◆リン酸と亜リン酸の構造式の違い



注目！

P-マックス・Lを使用すると
発根が促進され、環境ストレス
に強くなる力が養成されます。

農林水産省登録 生第93354号 規格:1㊦(1.4kg),10㊦(14kg),17.14㊦(24kg)

特徴・効果

- ・発根が促進されて肥料の吸収が良くなり、環境ストレスに強くなる力が養成されます。
- ・徒長抑制、着果・結実の促進、果実の肥大促進に有効です。
- ・低温時、天候不順時の使用は特に効果が表れます。

使用方法

500～1000倍に希釈し、散布間隔は1週間以上空けて葉面散布して下さい。
農薬混用時は1000倍程度に希釈して散布して下さい。

P-マックス・Lの作物別使用方法

	作物	目的	散布濃度(倍)	散布時期
育苗	果菜類 葉菜類全般	徒長防止、健苗育成、光合成促進	1000-2000	1. 5～3葉期から 定植まで10～14日おき
本圃	イチゴ	品質の向上、花芽分化促進	500-1000	定植後(10～14日おき)
	トマト	品質の向上	500-1000	定植後(10～14日おき)
	ピーマン	品質の向上、果実中の未消化窒素の低減	500-1000	定植後(10～14日おき)
	ウリ類(キュウリ、メロン、 スイカ、カボチャ等)	花芽の充実、着果促進、肥大促進 糖度アップ	500-1000	着蕾期から10～14日おき
	茎菜類(アスパラガス)	根株の充実、養分転流促進、増収	500-1000	収穫期(10～14日おき)
	みつば、みぶな、ねぎ類等	品質の向上	500-1000	定植後(10～14日おき)
	ハウレンソウ、レタス、 キャベツ、白菜、ブロッコリー	品質の向上	500-1000	定植後(または本葉2～3枚時頃 から)10～14日おき
	豆類(小豆、いんげん等)	着果促進、莢数増加、品質の向上	500-1000	定植後より着蕾期後期まで 10～14日おき
	根菜類(ニンニク、人参、 パレイシヨ、タマネギ等)	肥大促進、品質の向上	500-1000	肥大初期から7～14日おき
	長芋、甘藷	養分転流促進、肥大促進、ツルボケ抑制	500-1000	根部肥大初期から 7～14日おき
	ブドウ	糖度アップ、品質の向上、着色促進	500-1000	開花初期 果実の実止まり 時期から収穫2-3週間前まで
	果樹 (リンゴ、梨、サクランボ等)	品質の向上(糖度アップ等)	500-1000	新葉の展開時期から30日おき
	果樹(柑橘類)	花芽分化・着果促進、花芽の均一化	1000-2000	収穫直後 花芽分化時、徒長枝の出やすい時期
	花き類	品質の向上	500-1000	生育期全般(10～14日おき)
	花き類(キク)	消灯後の花芽の充実、茎を硬くする 色上がりの向上に	500-1000	消灯後から (わい化ホルモン剤との混用可)
芝	根張り向上	500-1000	春先、夏から秋にかけて 2～3週間おき	

使用上・保管上の注意

- ・アルカリ性農薬や石灰硫黄合剤、銅剤との混用及び、近接散布は避けて下さい。
- ・夏季の高温時等、不適と思われる条件での使用は避けてください。
- ・直射日光、高温多湿を避け、乳幼児の手の届かない場所で保管して下さい。

お取り扱い

アグリワークス株式会社

〒343-0041

埼玉県越谷市千間台西4-14-22

TEL/048-975-0380 FAX/048-933-9221